

認知症 市民向け研修会の開催報告



土居先生の講演のご様子です。参加者からは、もっとたくさんの時間をかけて、お話が聞きたかったというお声を多く頂きました。また、公開ロールプレイに参加していただいた方々、その場面の一部の光景です。皆様、本当にありがとうございました。

平成29年7月8日土曜日、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター主催の今年度第1回目、一般市民向けの認知症啓発研修会をのがみプレジデントホテルにて開催させていただき、民生委員、主婦、地域包括支援センター職員、グループホーム管理者、ケアマネージャー、精神科病院の看護師など当日は191名の方々に参加して頂きました。今回は、講演と公開型ロールプレイという形で研修会を行い、参加者の皆様様方から多くの声を頂戴いたしました。(アンケート回答者数:150名、約79%) また、当日は時間配分や空調等の関係で、寒い思いをしながら、参加していただいた声も多数聞かせて頂きました。今後は、その点も配慮させていただきながら、事前にご案内、当日の運営に努めさせていただきたいと思っております。今後ともご指導も含めて、何卒よろしくお願いいたします。

さて、講演では、「地域で認知症を支えるために～ご本人を主体とした適切な支え方～」という演題で、社会福祉法人 恵徳会 サービス付き高齢者向け住宅 まほろばの里 なの国 管理者土居孝男先生にお話ししていただきました。その後の公開型ロールプレイでは、①行方不明の認知症高齢者への関わりとして、筑穂地区の民生委員、筑穂地域包括支援センター職員、桂川町にある介護老人福祉施設 明日香園の職員の方々、②介護職が困っているケースとして、食事拒否の場面を取り上げ、次世代委員会の皆様方、③家族が介護で困っているケース、デイサービスに行かない事例として、嘉麻市認知症の人と家族の会 会員、次世代委員会の皆様に壇上で演じていただきました。

土居先生の講演、公開型ロールプレイの感想をアンケートから一部を抜粋させていただき、最後に報告と代えさせていただきます。

- ・認知症の人の気持ちを考えて行動しなければいけないと感じました。
- ・施設に事務で仕事をしています。専門職ではありませんが、入居者の方やまわりに認知症の方がおられます。身近な問題です。とても参考になり、何だか気持ちが楽になりました。一人で考えこまず、まわりの力を借りて、取り組んでいたらと思いました。
- ・家族が介護で困っているケース。本当に大変なんだろうと実感できた。時間どおりに送りだして下さる家族に頭が下がります。

土居先生はじめ、公開型ロールプレイで登壇して頂いた方々、飯塚手話の会の皆様方、本当にありがとうございました。

最後になりますが、次回の研修会、第2回市民啓発研修会を11月11日土曜日午後1時～午後3時30分まで、のがみプレジデントホテルにて開催させていただき運びとなっています。(定員:150名) 何卒、本研修会へのご参加のほど、よろしくお願いいたします。

講師は、第2宅老所よりあい所長 村瀬孝生(むらせ たかお)先生をお招きします。